

令和3年3月16日

令和3年度 学校評価委員会 報告

敬愛学園高等学校
教頭 新田 幸二

令和3年度評価委員会はコロナ禍でのことも有り、不本意ながら書面での開催となりました。以下の通りです。

1 委員の構成

校長、千葉市稲毛区長、同窓会長、PTA 会長、近隣公立学校長 4 名 以上 8 名

2 開催方法

通常、年間3回の開催をしているが、今回は2月中旬に以下の資料をお送りし、アンケートにてご指摘をいただくこととした。

- ① 学校要覧 ②学校案内 ③学校報告
- ④生徒保護者アンケート・教員アンケート ⑤学校評価アンケート コメント
- ⑥学校紹介ビデオ (USB)

3 評価アンケートについて

集約版に指摘事項とコメントとして記載させていただきました。

学習時間については進路指導部の調査がありましたのでコース別学年別に整理してみましたが、「思った通り勉強していない」「意外に勉強している生徒がいる」など様々な感想がもたれます。少ない時間の中で時間を確保して勉強している生徒がいる反面、全くしていない生徒もおり、「せざるを得ない」環境作り、勉強することでの成功体験なりを積み重ねて行ける工夫が必要であると痛感します。

総合の時間の1年稲毛イメージや3年卒業研究については、協力団体様、担当職員により意欲的に取り組んでいただき、充実したものになってきました。次の学年にも引き継いでいきたいと考えています。

コロナ禍の中、学習活動、部活動ともかなり制限された状況下での活動を余儀なくされましたが、生徒も教員も工夫し、意欲を切らさず、活動することが出来ました。

今回のご指摘を次年度の事業計画、年度計画に反映させ、よりよい学校運営を目指して参ります。ありがとうございました。

学校評価アンケート 集約

お寄せいただいたアンケートを分野別に掲載させていただきました。

1 (建学の精神、ホームページ)

- A) 学校の名前の由来、建学の精神が非常に分かり易くて良いと思いました。
学校紹介ビデオも在校生達の登場により、非常に分かり易く出来ていると感じました。
- B) 生徒・保護者の評価は良好であるが、教員アンケートで「建学の精神について機会を捉えて生徒に話すようにしている」が6割に満たない。指導する上で教員にも共感してもらい必要があると思う。
- C) 建学の精神をどの教員も同じように指導できる学年毎の学習プログラムを作成した方が良い。
- D) ホームページはわかりやすく充実していると思います。
- F) 建学の精神が、生徒に十分浸透し、生きる指針としてとらえきれていない点が気になりました。私学の根本となるところだと思いますので、「敬天愛人」の意味も含めて深く指導していただけたらと思います。中学校では、第1希望で受験する生徒の校長面接で建学の精神について問うことにしています。

<コメント>

建学の精神を生徒に浸透させるについては、敬天愛人講座などの講演会や総合学習での Inage Image、修学旅行事前学習、卒業研究などを通じて浸透させていきたいと考えている。また、各 HR 担任には機会を捉えて意識的に話をしていく姿勢が求められる。

2 (学習・授業)

- A) 各コースの狙いや教育内容が整理されており、生徒達が目標設定しやすくなっていると感じました。少人数制なども取り入れられており、きめの細かい指導がなされていると感じました。
- B) 家庭学習を習慣づけるための手引きの作成とチェック体制。
- C) 家庭学習1時間未満の現状は敬愛に限らず、どこの高校にもある課題と思いますが、アンケート Q4) について特進・進学 α ・ β とコース毎のデータがあると良いと思いました(手持ち資料として)・
- F) 今年度は、見学をしていないので様子はわかりませんが、昨年度拝見させていただいた際に、本時の目標を明示して授業を行ったほうがよいと意見させていただきました。

<コメント>

家庭学習については1月に進路指導部が調査したものがありましたので参考に添付しますが、少しずつの積み重ねで成果を上げていく成功体験を積み重ねていく工夫が

必要と感じます。

「本時の目標」の明示は積極的に取り入れている教員も見られるようになってきました。

3 (生徒指導)

- A) アンケートの結果をみると、校則やルールに関する保護者の理解が非常に高いうえに、生徒も保護者も順守していることが分かりました。
- B) 学校に伺ったときに挨拶してくれる生徒がいていいなと思いました。社会人となる準備を含め、ルールマナーは守れるようになると良いと思います。
- C) 校則や決まりについて生徒自ら改善する場を設けると良い。
- D) アンケート Q10 で、保護者の 96%が肯定的な意見を持っていることから生徒指導は行き届いていると思います。
- F) 最近、理不尽な校則が話題となっています。極端なルールは別として、基本的なルールは必要ですし、それを守る規範意識を育てることも重要だと思います。アンケート結果では、生徒も保護者もルールを妥当と認識し、守っている様子が示されているので良いのではないかと思います。

高校生では不登校傾向がどのくらい見られるのでしょうか。また、不登校生徒が生じた場合、その指導はどのように行っているのか知りたい部分です。

<コメント>

生徒指導は、生徒・保護者の理解を得て行われています。頭髪指導なども粘り強く指導できています。また、不登校対策としては、スクールカウンセラーが週 3 日常駐しており、担任からの家庭連絡、相談体制を組み、カウンセラーが週 3 日常駐しており、医療機関とも協力しながら、対応しています。校内でのトラブルもありますが、家庭でのトラブルが原因の場合も散見され、総合的に見ていけないといけないと痛感します。今年度は、コロナによる長期休校が有り、学校再開時に登校が難しくなる生徒も発生しました。また、家庭訪問等により、卒業に漕ぎ着けた生徒もおり、生徒一人一人に応じた対応が必要であるとも感じます。

4 (進路指導)

- A) 3つのコースそれぞれ進路に対する意識づけがうまく行われており、進路実現が図られていると感じました。各コースの主任の先生が、全体を上手くコントロールしているのではないかと推察しました。
- C) 進路指導室の活用の見直し、1・2年生に向けた進路指導プログラムの作成
- D) 高校は進路での出口保証が何より大切です。特進コースなど生徒の能力に合わせて力を伸ばし、実績を作っていると思います。
- F) 大学進学、専門学校進学、就職等さまざまな進路の選択肢がある中、中学校と異なり、広い世界、そして社会に直結した道を考えなければならないと思われ、生徒自身が積極的に進路を考える機会を学校が設定する必要があります。アンケートからは、進路選択に向け割と子供任せになっているのか、親子で意識の差が大きいことが気に

なりました。

<コメント>

進路選択については「もう高校生だから、自分で考えて選べ」との考えもありますが、多くの生徒は特に考えも調べもせず、3年生になって、ばたばたと進路先を決めている状況があります。保護者と協力しながら、早期に生徒の志望する進路、そしてそれに見合う学力をつけるための作戦を練っていく必要があります。そのため、進路ガイダンス、出張講義等用意し、稲毛イメージなどを活用し、現場で働いている方のご協力をいただき、職業、学問に触れる機会を設定しています。

また、生徒の進路意識をする醸成する等の目的のため、今年度新たに「進路の葉」を作成し、活用していきます。

5 (施設設備・環境)

- A) ビデオで、運動部活動の様子を拝見しましたが、施設、設備はそれなりに充実しているのではないのでしょうか。
- D) 建物の経年劣化はあるとしてもその維持によく手入れがなされていると思いました。
- E) もう少し IT に予算をかけても良いのではないかと考えます。
- F) 施設の老朽化はいたし方ないところがありますが、安全な学校生活が送れる状態になっているかが重要だと思しますので、お金がかかっても修繕すべきところは必要かと思えます。

<コメント>

古い校舎ですが、課外教室や実験実習設備は完備され、満足のいく授業環境にあると思っています。電子黒板のは全クラスに配置され、授業で活用されています。現在、タブレット端末の導入に向け準備を進めており、令和4年度入学生からクロムブックを導入する計画を進めています。

6 (海外留学)

- A) 新型コロナウイルスの影響を受けて、現在はうまく実施できていないようですが、このグローバル化した現在において、海外留学経験は非常に有意義なことであると考えます。1年間の留学、短期留学と種類もあり、1年間留学しても3年で卒業できる仕組みは高校生にとっては、海外留学のハードルが下がり利用しやすい制度だと考えます。欲を言えば、もう少し、中学生にこの事を広報したら如何でしょうか。
- D) 海外に行ける状況にならなかった時にどうするか。オンラインでの留学体験や交流をすることを検討してはいかがでしょうか。
- E) コロナ禍で中止となって残念ですが、積極的に取り組んでいると思います。
- F) 留学先を複数の国にしてはいかがでしょうか。
- G) 以前、敬愛学園高校に入学したい理由の一つに海外留学があることを挙げていた生徒がいました。アンケート結果でも海外研修の制度の認知度は高く、生徒や保護者にとって期待感の大きい部分だと思えます。コロナ禍では実施が困難かと思えますが、継続して行っていただきたいと願うばかりです。

< コメント >

海外留学については長期的には復活すると思っておりますが、現1・2年生にとっては苦しいところです。オンライン体験、国内留学などを含め、意欲を維持しつつ、次のステップに踏み出せる準備を提示していきたいと思っております。

7 (その他)

- A) 職員のアンケートから、学校への協力体制の高さが伺われました。また、危機管理の意識も高く、教育目標や年間計画に対し、適切と感じていることから、職員は安心して業務に邁進できているのではないのでしょうか。
生徒・保護者アンケートから、部活動が盛んであるとの意識も高く、これも敬愛学園高校の1つの特徴だと思えました。
- B) 総合学習の取り組みは良かったと思っております。是非継続していただきたいと思っております。
- C) 保護者アンケートは4「当てはまらない」が10%以上、教員アンケートは4「当てはまらない」が5%以上は何かしら手立てを考える必要がある。項目別によると
- ・「新聞教育を充実」 担当を決める
 - ・ 図書担当に「どうすれば生徒が図書館をより活用するか」アンケートを採るなどして活用の手立てを考えさせる。
 - ・ タブレットの活用研修をする。
 - ・ ニーズに合った研修の工夫
 - ・ 「生涯学習講座」見直し
- E) 校長先生の下、進学・部活動とも活気のある学校運営に尽力していると思っております。

<コメント>職員一人一人は自分たちが学校を作っているとの意識が高く、ほとんどの職員は授業、クラス経営、部活動生徒募集活動に積極的に携わってくれており、ずいぶんと助けていただいております。ただし、自分の得意分野以外については消極的な傾向もあり、「朝読書」や「新聞活用」については意識的に啓発していきたいと考えています。

以上